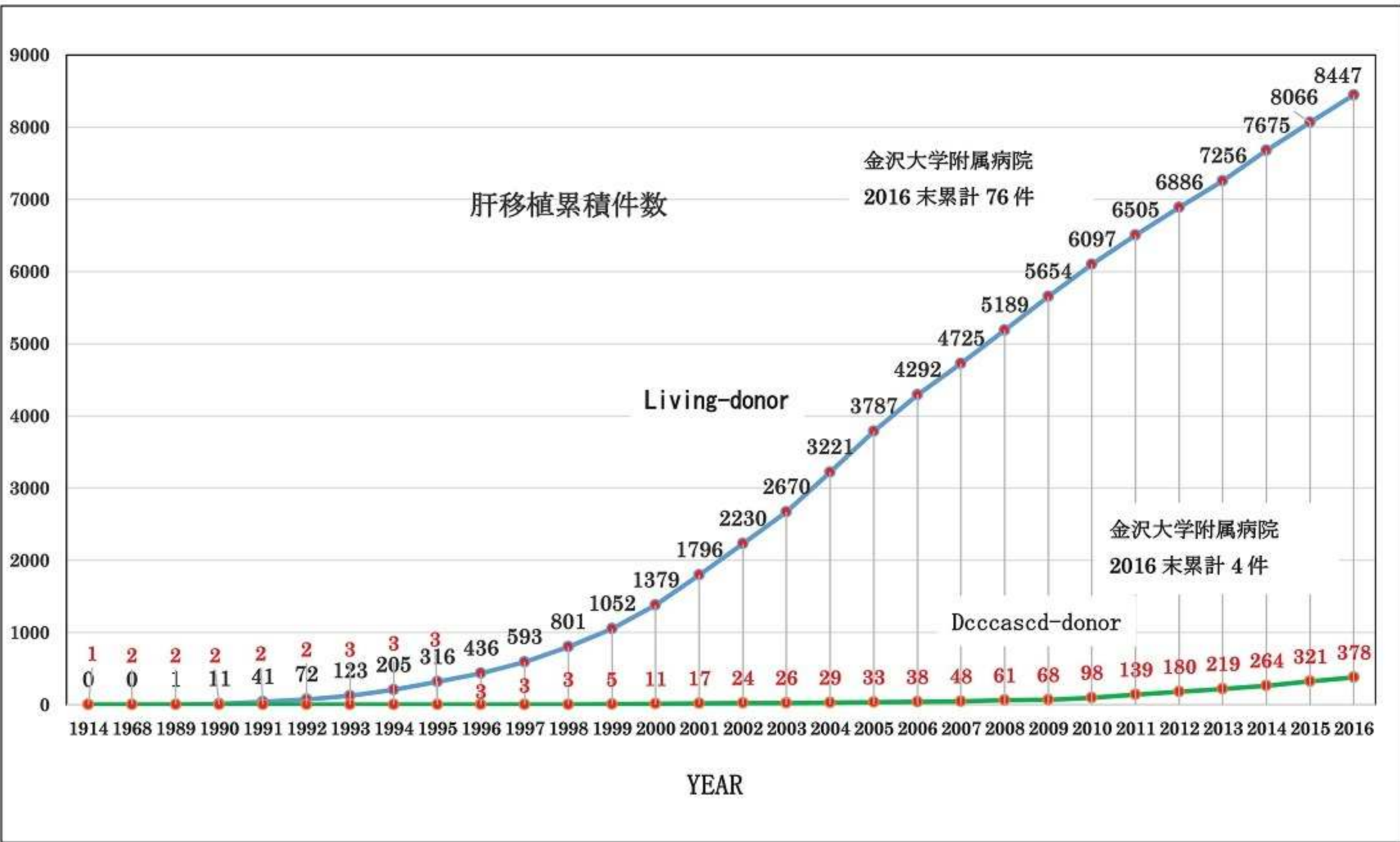


「肝移植症例登録報告」日本肝移植研究会より 2016

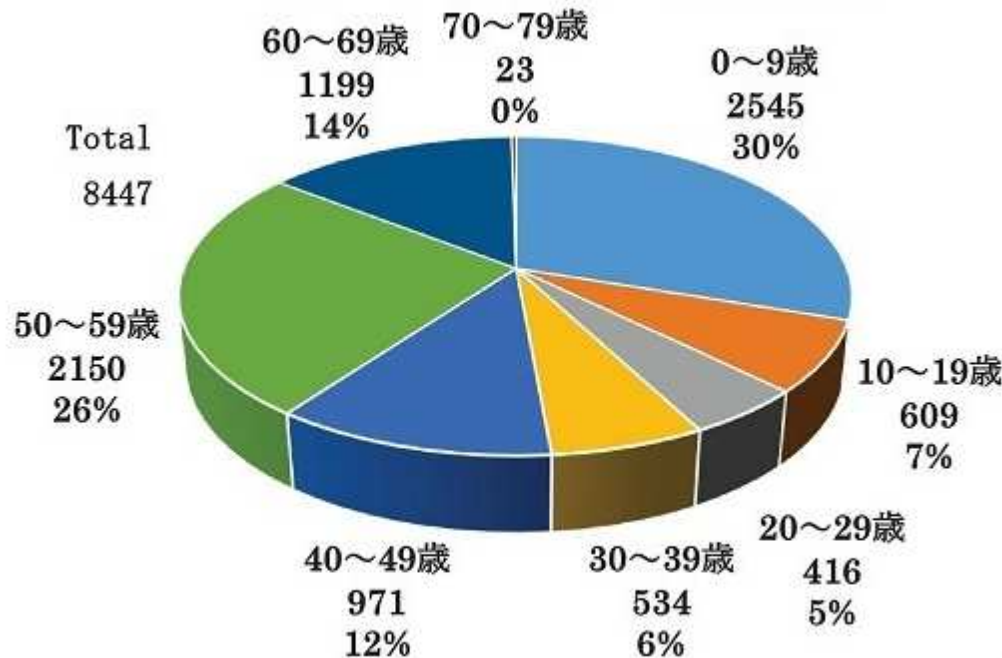
移植の総数は毎年着実に増加を続け2005年に570のピークに達した後、減少に転じ、2007年以降は400台で推移している。

1999年に開始された脳死移植の年次実施数は改正法が年度半ばに施行された2010年に30と著明に増加し、2015年には、初めて年間50移植を超えた。

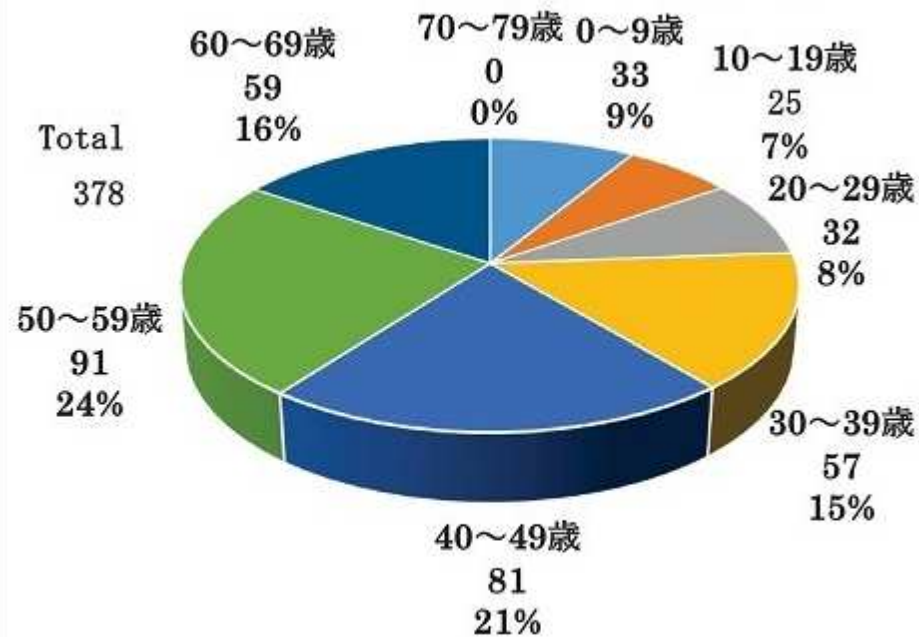


総移植数は8,825であり、ドナー別では、死体移植が378（脳死移植375、心停止移植3）、生体移植が8,447であった。  
 また、初回移植8,537、再移植274、再々移植14であった。

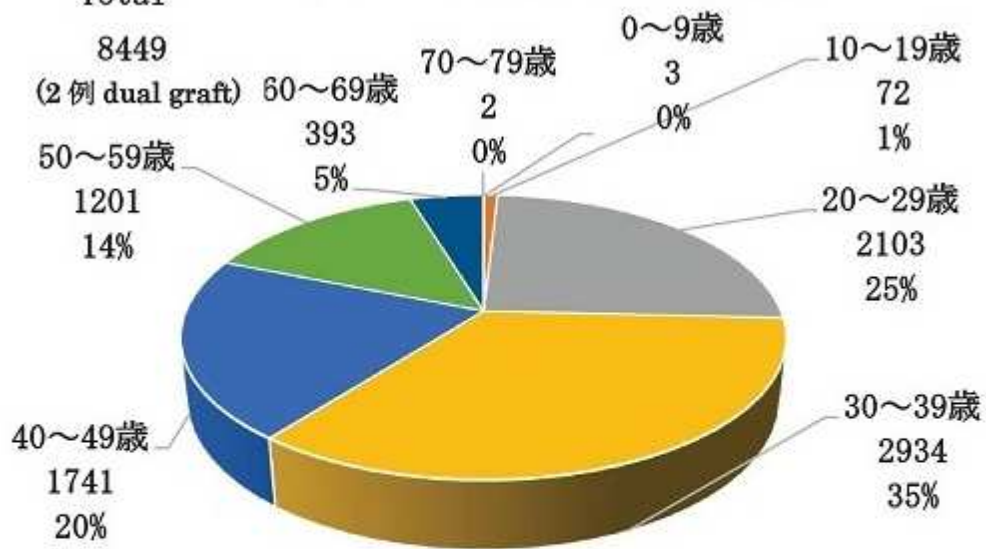
### レシピエントの年齢・生体肝移植



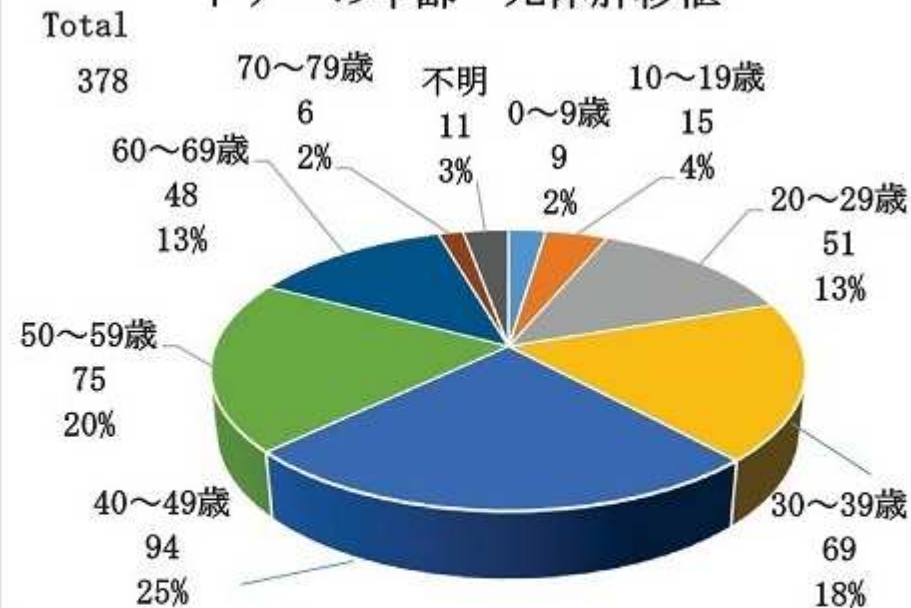
### レシピエントの年齢・死体肝移植



### ドナーの年齢・生体肝移植

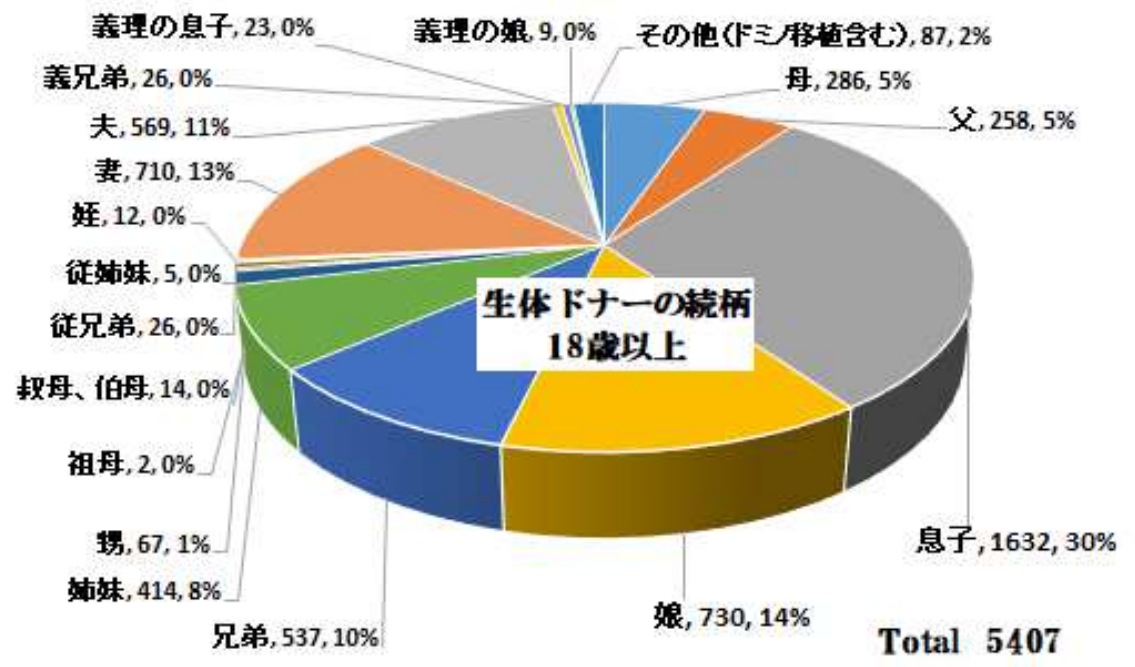
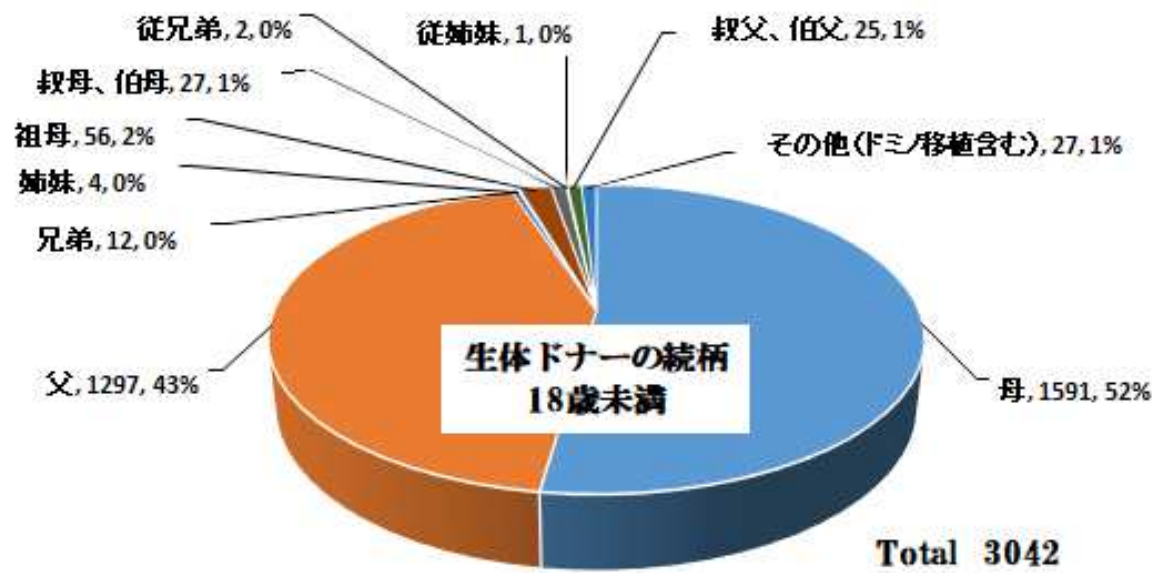


### ドナーの年齢・死体肝移植



生体ドナーは30歳代が最も多く20歳代がこれに次いだ。最年少は17歳、最高齢は70歳であった。10歳未満のドナーはすべてドミノ移植の二次ドナーであった。

脳死肝ドナーの最高年齢は73歳であった。



**生体ドナーの続柄**

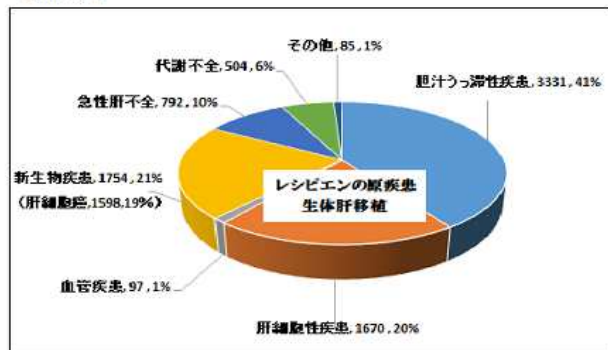
続柄	18歳未満	18歳以上	計
母	1591	286	1877
父	1297	258	1555
息子	0	1632	1632
娘	0	730	730
兄弟	12	537	549
姉妹	4	414	418
甥	0	67	67
祖母	56	2	58
叔母、伯母	27	14	41
従兄弟	2	26	28
従姉妹	1	5	6
叔父、伯父	25	0	25
姪	0	12	12
妻	0	710	710
夫	0	569	569
義兄弟	0	26	26
義理の息子	0	23	23
義理の娘	0	9	9
その他(ドミノ移植含む)	27	87	114
計	3042	5407	8449

小児の生体ドナーは両親で95%を占めている。

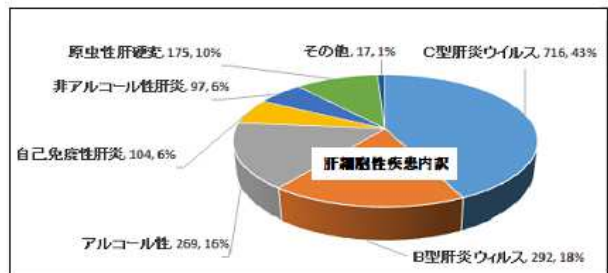
大人の生体ドナーは息子(30%)、娘(14%)、妻(13%)、夫(11%)、兄弟(10%)、姉妹(8%)で全体の86%を占めている。

## レシビエンの原疾患：初回移植

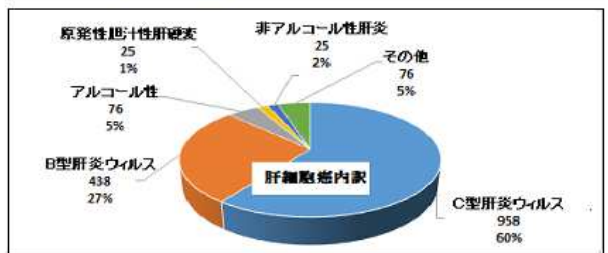
生体肝移植



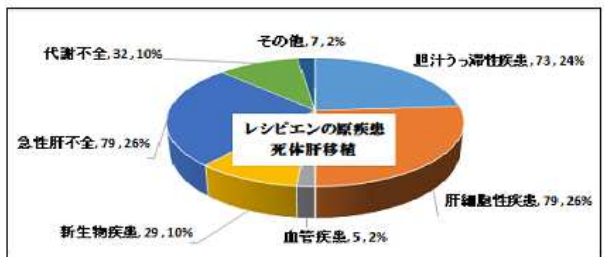
肝細胞性疾患内訳：生体肝移植



肝細胞癌内訳：生体肝移植



死体肝移植



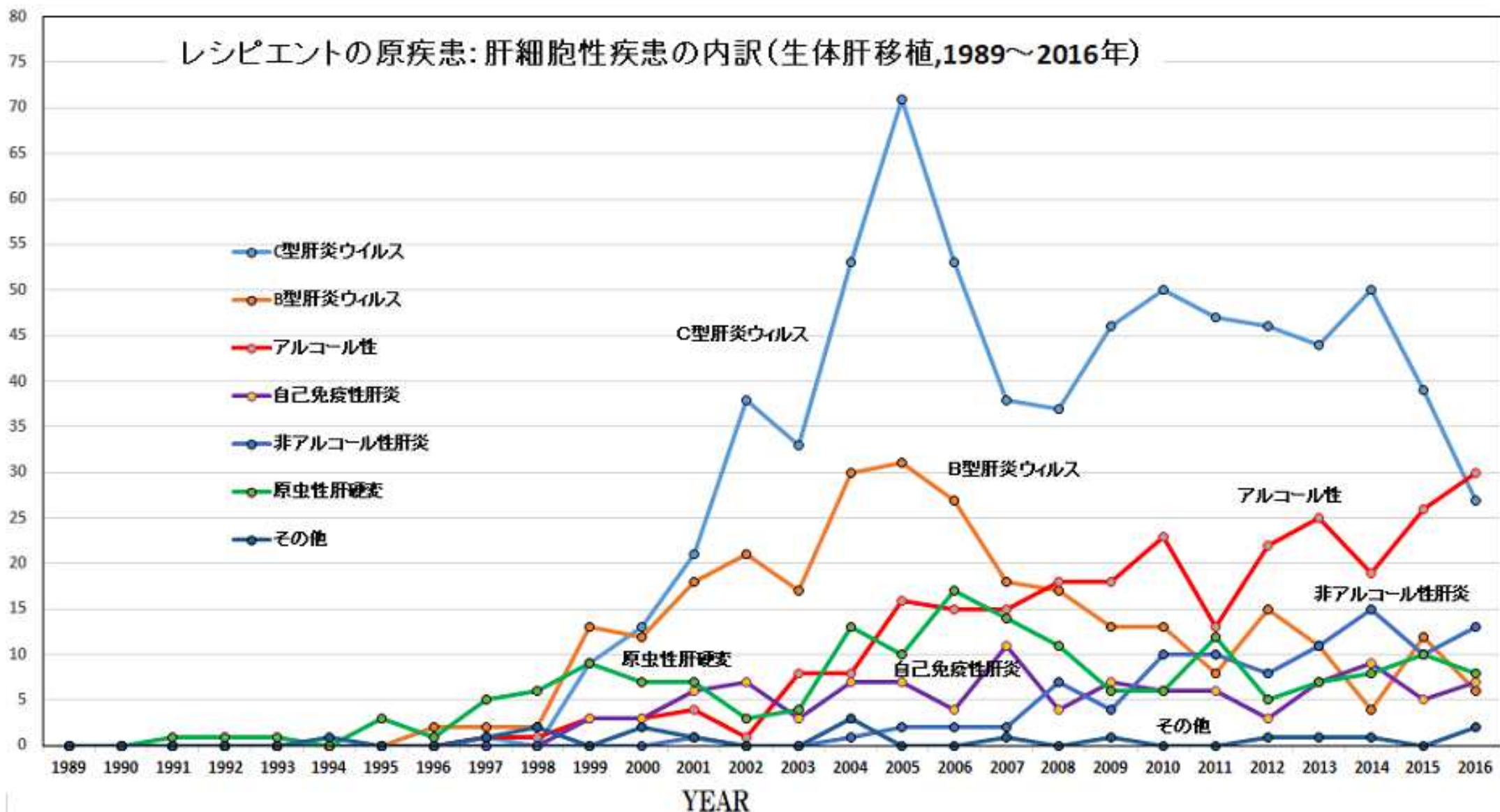
生体肝移植は胆汁うっ滞性疾患が最多を占め、小児は胆道閉鎖症が、大人は原発性胆汁性肝硬変が多かった。

死体肝移植は近年急性肝不全の増加が目立っている。胆汁うっ滞性疾患の中では、原発性硬化性胆管炎が増加し、今回、胆道閉鎖症に並んで最多となった。

## レシビエンの原疾患：初回移植

原疾患	生体肝移植			死体肝移植				
	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計		
胆汁うっ滞性疾患	胆道閉鎖症	219	2,183	12	14	26		
	原発性胆汁性肝硬変	0	710	5	21	26		
	原発性硬化性胆管炎	26	206	0	18	18		
	アラジール症候群	87	3	90	0	0	0	
	バイラー病	44	2	46	0	0	0	
	カロリー病	10	10	20	0	0	0	
	先天性二枝管拡張	6	8	14	0	0	0	
	その他	8	28	36	0	3	3	
	小計	2,145	1,186	3,331	17	56	73	
	肝細胞性疾患	C型肝炎ウイルス	1	715	716	0	31	31
B型肝炎ウイルス		0	292	292	0	14	14	
アルコール性		0	269	269	0	11	11	
自己免疫性肝炎		5	99	104	0	6	6	
非アルコール性肝炎		2	95	97	0	8	8	
原虫性肝硬変		32	143	175	0	8	8	
その他		9	8	17	0	1	1	
小計		49	1,621	1,670	0	79	79	
血管疾患		バッド・キアリー症候群	7	47	54	0	3	3
		先天性門脈不在	28	3	31	0	0	0
	その他	7	5	12	0	2	2	
	小計	42	55	97	0	5	5	
新生物疾患	肝細胞癌	C型肝炎ウイルス	0	958	958			
		B型肝炎ウイルス	0	438	438			
		アルコール性	0	76	76	0	28	28
		原発性胆汁性肝硬変	0	25	25			
		非アルコール性肝炎	0	25	25			
	その他	8	68	76	1	0	1	
	小計	8	1,590	1,598	1	28	29	
	肝芽腫	101	1	102	0	0	0	
	肝転移	1	18	19	0	0	0	
	神経鞘腫	5	7	12	0	0	0	
胆管細胞癌	1	10	11	0	0	0		
その他	5	7	12	0	0	0		
小計	121	1,633	1,754	1	28	29		
急性肝不全	B型肝炎ウイルス	7	151	158	1	23	24	
	薬物誘発性	2	39	41	0	11	11	
	自己免疫性肝炎	2	37	39	0	10	10	
	ウイルス性(≠B型肝炎ウイルス)	15	17	32	1	1	2	
	新生児ヘモクロマトシス	10	0	10	0	0	0	
	不明	221	283	504	3	28	31	
	その他	2	6	8	1	0	1	
	小計	259	533	792	6	73	79	
	代謝不全	ウィルソン病	66	66	132	2	7	9
		家族性アミロイド	0	89	89	0	3	3
OTC(一般医薬品)欠陥		64	2	66	6	1	7	
シトルリン血症		15	41	56	1	7	8	
グリコーゲン貯蔵病		22	9	31	0	2	2	
メチルマロン酸血症		31	0	31	0	0	0	
原発性高尿酸血症		14	6	20	0	0	0	
CPS(認知活動尺度)不足		18	0	18	0	0	0	
チロシン血症		15	0	15	0	0	0	
プロピオン酸血症		10	0	10	0	0	0	
その他		28	8	36	2	1	3	
小計		283	221	504	11	21	32	
その他		その他	36	49	85	0	7	7
		多嚢胞性肝臓	(0)	(0)	(0)	(0)	(7)	(7)
合計		2,935	5,298	8,233	35	269	304	

レシピエントの原疾患: 肝細胞性疾患の内訳(生体肝移植,1989~2016年)



近年B型ウイルス性肝硬変が減少し、代わってアルコール性肝硬変や非アルコール性肝硬変が増加する傾向にあったが、2016年には、ついにアルコール性肝硬変がC型ウイルス性肝硬変をしのぎ、肝細胞性疾患中の最多となった。